

ベストセラー
誕生!

企画展

「南総里見 八大伝」の世界

仁 義 礼 智 忠 信 孝 悌

2025年 9月13日[土]—11月24日[月・振休]

【会場】 展示室C 【休館日】 月曜日(祝日・振休の場合は開館し、その翌日は休館。9月22日(月)は開館)、9月24日(水)

【開館時間】 展示室9:00～17:00(入室は16:30まで) 閲覧室9:00～19:00(土・日曜・祝日は18:00まで)

【観覧料】 一般600(480)円 大学生400(320)円 ※大学生は学生証を提示 ※()内は20名以上の団体料金、前売券、県内宿泊者割引料金
前売券は2025年8月23日(土)～9月12日(金)まで山梨県立文学館で販売(休館日を除く9:00～17:00)

次の方は無料 ・高校生以下の児童・生徒(高校生は学生証を提示) ・県内65歳以上(年齢が分かるものを提示)

・障害者とその介護者(障害者手帳を提示) ・11月20日(木)の県民の日はどこでも無料

【後援】 山梨日日新聞社・山梨放送 テレビ山梨 NHK甲府放送局 テレビ朝日甲府支局 朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局 産経新聞甲府支局
共同通信社甲府支局 時事通信社甲府支局 山梨新報社 エフエム富士 エフエム甲府 日本ネットワークサービス

【協力】 山梨交通

そのことばのつづきへ
 山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

二代目歌川国貞「八大傳大の草紙の内 大塚信乃成孝」(個人蔵)より



つきおかよしとしほうりゆうかくりょうゆうごく
月岡芳年「芳流閣両雄動」大判錦絵巻2枚続

明治20年(1887) 個人蔵

宝刀村雨丸を許我の足利成氏に献上しようとした大塚信乃(左上)は敵の間者に疑われ追われて芳流閣の屋根へ。討ち手として現れた犬飼現八(右下)と互いが八犬士と知らぬまに一騎打ちとなる名場面。



きょくていば きん なんそうさと みはつけん でん

曲亭馬琴『南総里見八犬伝』全98巻106冊 館山市立博物館蔵

文化11年(1814)から天保13年(1842)にわたり足かけ29年の歳月をかけて刊行。出版書肆の変更、馬琴の失明など困難を乗り越えて完成した。



辻村ジュサブロー作 NHK「新八犬伝」

人形 伏姫 館山市立博物館蔵

「新八犬伝」は昭和48年(1973)4月～昭和50年3月、NHK放送の人形劇(脚本 石山透 全464話)。辻村ジュサブロー(寿三郎)による人形、坂本九の軽妙な語り口で人気を博した。

「南総里見八犬伝」は十九世紀前半、江戸の戯作者曲亭馬琴が執筆した全九十八巻一〇六冊に及ぶ長大な作品です。安房地方に実在した里見氏の歴史を背景に、「八犬士」をはじめ善悪さまざまな人物が関東一円から越後、甲斐、京にまで舞台を拡げて活躍する物語です。刊行中から評判を呼び、錦絵、歌舞伎などに取り入れられ、明治以降、現代に至る今日まで、幅広いジャンルを刺激し新たな作品を生み出している、その魅力を紹介します。



芥川龍之介「戯作三昧」原稿

「大阪毎日新聞夕刊」大正6年(1917)10月20日～11月4日連載。八犬伝を執筆中の馬琴の胸中を描く。芥川は小学校時代から貸本屋を通じて「八犬伝」を読んだと後日回想している。

関連イベント

●講演会(無料)

10月5日(日)「長編小説家曲亭馬琴」

講師:高橋源一郎(小説家・評論家)

時間:13:30～15:00 会場:講堂(定員500名)

10月13日(月・祝)「『南総里見八犬伝』の構成と趣向」

講師:服部 仁(同朋大学名誉教授)

時間:13:30～15:00 会場:講堂(定員200名)

10月25日(土)「江戸時代 甲州の本屋と書籍文化」

講師:鈴木俊幸(中央大学教授)

時間:13:30～15:00 会場:講堂(定員200名)

●講座(無料)

9月14日(日) 年間文学講座3「展示の見どころ」

講師:高室有子(担当学芸員)

時間:14:00～15:10 会場:研修室(定員100名)

●ワークショップ

9月21日(日)「消しゴムはんこワークショップ」

講師:アオヤギルミ(消しゴムはんこ作家)

時間:(午前・午後2回)10:00～11:30、14:00～15:30

会場:研修室(定員午前・午後各回それぞれ15名(小学4年生以上))

材料費:1人500円

11月1日(土) 講談教室「八犬伝」の講談を鑑賞後、実演教室

講師:三龍亭千公・三龍亭夢学(伝統話芸集団「南房総三龍亭」)

時間:10:15～12:15

会場:研修室(定員20名(小学3年生以上))

テキスト代:1人600円

●閲覧室資料紹介(入場無料)

「どうぶつとぶながく」

9月12日(金)～11月24日(月・振休)

9:00～19:00(土・日・祝は18:00まで)

講演会はホームページか電話で、
ワークショップ、講座は
電話でお申し込みください。



交通のご案内

●電車・バス

JR中央本線 甲府駅より

・JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、39系統 御勅使、03・04系統 竜王駅経由敷島営業所、35系統 大草経由韮崎駅、30系統 貴川団地各行各きのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
※当館ホームページの「お知らせ」からもバスの時刻表をご覧ください。

・タクシーで約15分

●車

中央自動車道

・甲府昭和インターチェンジより約10分

・双葉スマートインターチェンジより約10分 ※ETC専用

中部横断自動車道

・白根インターチェンジより約20分



そのことばのつづきへ

山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

〒400-0065 山梨県甲府市真川1-5-35

TEL:055-235-8080 FAX:055-226-9032

<https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>

X(旧Twitter)
@bungakukan_ymns

Instagram
@yamanashi_art_literature_park



山梨県立文学館
ホームページ